



## 「中川ふれあいフェスタ」に4千人来場

5月25日(土)10時30分から16時30分まで、中川駅前広場周辺で「花と緑の中川ふれあいフェスタ」を開催しました。当日は真夏のような天気の下、28店舗とステージイベントに途切れることなく来場者があり、非常に盛り上がったフェスタとなりました。恒例のビンゴ大会では、トップ賞、商業地区の事業者から提供された賞品などを目指して、リーチ、ビンゴと参加者全員大声で楽しみました。

### 【今回の特徴】

1. 中川西中学校ボランティア部、ミニシティブラスの小中学生、東京都市大生、バレエやキッズダンス等、子供と若い人たちの企画とステージで、活気と元気をもらいました。



中川西中吹奏楽部の演奏

2. 駅前商業地区の事業者も、子供の遊びや美味しい卵販売等様々な工夫をして参加しました。

3. 花や緑でまちを豊かにする団体、自然環境の保護団体、福祉介護団体等の地域や社会で活動する各種の団体が参加しました。

4. フェスタのために、中川ルネッサンスプロジェクト、中川西中学校美術部、中川駅前クリーン作戦、牛久保町内会等の団体から会場付近の美化、備品の貸与等のご協力をいただきました。

### 【チャリティー古本市】

多くの皆さんから古本の寄贈を頂き、8,450円の売り上げがありました。売上金は、「東北震災復興支援のNPO法人結ぶ」、ネパール教育支援の「NPO法人バル・ピパル奨学基金」に寄付させていただきます。

様々なボランティアを通じて、フェスタの準備と当日の運営にご協力下さった皆様に感謝申し上げます。

## 中川駅前商業地区の店舗を利用しよう

5月31日(金)をもってフィットネスクラブ「パレット中川」が閉店しました。セントラルフィットネスクラブ時代から合わせると27年間、中川駅前商業地区の中核施設として、地域の健康づくりに貢献されました。

### 1. 今後の商業地区が心配

パレット中川には毎日600人の利用者がいらっしゃいましたが、閉店後は、パレット前の広場に集まっていた子ども、お母さんの姿が非常に少なくなり、商業地区の活気がなくなったように心配です。

### 2. ぐるっと緑道からの呼びかけ

ぐるっと緑道は、住民の立場から長い間、商業地区を地域のセンターとして見守り、活性化の活動をしてきました。中川周辺は緑豊かな文教地区ですが、子育て、高齢者に住みやすい場所であり続けるためには、身近な生活を支える

中川駅前商業地区店舗の存続、繁栄が必要です。我々住民ができることは、私たちが「自分たちの商店」として、中川駅前商業地区の店舗を使い続けることが必要であると思います。

### 中川駅前商業地区の歴史

- ・1993年: 地下鉄開通後、大規模商業施設2店、スーパーが3店、本屋もある商業地区に
- ・2000年: センター北商業地区の充実により、大型店舗が撤退し、空き店舗発生
- ・2010年: 地域ワークショップで、「物販中心」から「生活支援・サービス」に転換提案、活性化イベントである「中川ふれあいフェスタ」の再開
- ・2012年: ぐるっと緑道がコミュニティカフェ開店  
まち普請事業による花と緑の中川まちづくり

## 中川西中学校生徒の職場体験受け入れ

5月28日(火)から3日間、中川西中学校の職場体験授業が中川駅周辺の事業者も協力して行われました。「NPO法人ぐるっと緑道」では、2年生女子生徒2名を受け入れ、山崎公園愛護会の野草の生態調査、ほっとカフェのスタッフ体験、

ぐるっと緑道のまちづくり活動の体験をしてもらいました。

生徒からは「楽しい体験だった」との感想をいただき、受け入れ側にとっても元気をもらった職場体験でした。今後も、学校教育を積極的に応援していきます。